

1 自己評価及び外部評価結果

事業所概要 (事業所記入)

事業所番号	0570706606	
法人名	医療法人 仁恵会	
事業所名	グループホーム夕陽の丘	
所在地	秋田県湯沢市柳田字中嶋227番地の1	
自己評価作成日	平成 22年 8月 10日	評価結果市町村受理日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価機関概要 (評価機関記入)

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
所在地	秋田市御所野下堤五丁目 1番地の 1
訪問調査日	平成22年8月26日

事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)

<p>自立と相生(あいおい)の理念のもとに、利用者様同士、また、職員と利用者様が互いに支えあえる関係を築けるように努めている。日常においては、利用者本位の支援が行えるように、利用者様との関わりの時間を多く取り、個々の思い、要望の把握に努めている。</p> <p>生活面では、利用者様の生活歴を活かしながら、料理が得意な方、園芸が好きな方等各場面でそれぞれが主役となれる場面を作り、個々に合った生活を送れるように支援を行っている。また、職員は仕事に意欲的であり、様々な研修会への参加や、内部研修にも力を入れて取り組んでいる。</p>

<p>当ホームの広い窓からは、ホーム名の由来である夕陽が鳥海山に沈む様子を一望できるほか、四季折々の季節を楽しむことができ、利用者に安らぎの時間を与えてくれる。運営理念にある「相生(あいおい)」には「一緒に生まれ育つ」という意味も込められており、運営者・管理者・職員はこの理念の下、一丸となってサービスを提供している。利用者や家族のような信頼関係を保ち、一人ひとりの尊厳を守り、安心して快適な質の高い生活を提供していることが、利用者の明るい穏やかな表情からも伺えた。また、隣接の施設と共同で地域の高齢者の相談に応じる体制を築いているなど、地域社会に貢献する姿勢が伺える。運営者・管理者・職員は向上心を持ってホームの運営や支援に当たっており、地域の他地域密着型サービス事業所との連携等に関してもリーダー的な役割を担っている。今後さらに発展が期待される事業所である。</p>

.サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目 23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目 18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目 38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目 36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目 11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目 49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目 30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目 28)		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自立と相生(互いに他の物を生み出す関係)」という理念を掲げており、定期的に理念教育を行い、理念に沿ったサービスを提供出来るように努めている	ホームでは「自立と相生(あいおい)」という理念を掲げている。また、運営者・管理者・職員は、理念に関する学習会を通じて、利用者・地域との信頼関係を大切に、互いに「相まって生きていける」ようなサービスの提供に努めている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	立地的に交流が難しい面もあるが、地元のスーパーや、床屋を利用し、顔馴染みの関係を築いている。開所当時から、月1回地元婦人会の方が慰問に来てくださっている	ホームは集落からやや離れた場所に立地しているが、地区会長の理解、協力を得ながら、地域の一員となっている。地元の婦人会や演芸団体の定期訪問があり、利用者との交流もよく行われている。また、隣接の施設と共同で地域の高齢者の相談に応じる体制を築いている。	
3		事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議を通じて、グループホームが認知症ケアの拠点であることを説明し、相談を受ける体制があることを伝えている。今後、地域の方に伝えていけるよう取り組んでいきたい		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回の運営報告(利用者様状況、生活状況等)を行っており、外部の方にも状況が把握出来るように説明している。また、会議での意見等は、職員に周知しており、取り入れている	運営推進会議は2か月に1回開催され、利用者の状況や行事等をわかりやすく丁寧に報告し、出席者の理解と支援を得ている。地区会長にも積極的に参加してもらっている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	報告や情報交換を行っており、連絡体制が取れている	包括支援センター職員との運営推進会議での話し合いの他、事業所からの情報提供・交換が行われている。また、地域の見守りネットワークにも参加するなど、連携に努めている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、日常的に注意を払い、拘束のないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみであり、職員は日常的にさりげない見守りを行いながら安全に気配りしている。職員と利用者とのコミュニケーションもよく行われているほか、身体拘束に関する職員教育も行われている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待についての外部研修への参加や、内部研修でも話し合いを行い、虐待の防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在利用されている方はいないが、研修等に参加し必要性については、理解している。今後必要とされる方がおれば支援していきたい		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、改定の際は、理解して頂けるように文書及び、口頭で詳しく説明をおこなっている。契約の解約に関しても、ご家族様と話し合いを設け、納得頂いてから解約を行っている		
10	6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に相談、苦情受け付けを明示している。また、サービス計画書の説明時や、面会時等にご家族様と話し合う機会を設けており、意見等があれば、すぐに反映している	日常の利用者とのコミュニケーションの中から一人ひとりの意向を汲み取り、職員間で話し合い、運営に取り入れている。家族の方にも面会・訪問時には進んで声かけを励行し、話しやすい雰囲気をつくり出し、意見の反映につなげている。	
11	7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議等で、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、反映させている	毎月職員の会議が開催されている。運営者・管理者・職員が一体感を持ち、それぞれ前向きな姿勢で意見交換が行われている。会議に各職員が出席しやすいように運営者は配慮している。	運営者・管理者・職員が一丸となり向上心を持って事業所運営に努めており、職員も大半が資格を有している。今後も引き続き職員教育・研修等を通して職員の資質の向上を図り、意見等を事業所運営に反映できるような体制を整えていくことも期待される。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	公正な人事考課により、努力に報いる給与体系としているほか、福利厚生を充実させ、仕事と家庭の両立、ワークライフバランスの向上に取り組んでいる。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人事考課、面接等を通じて能力を把握し、内外の研修を受講させ、それを仕事でも生かせるように努力している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回、市内のグループホーム、小規模多機能の管理者、地域包括支援センターの方との会議を開催しており、情報交換や、勉強会を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の面接等で、十分なアセスメントを行い、本人の必要とされるサービスについて検討を行っている。また、入居前に、本人に見学をいらして頂き、雰囲気馴染んで頂けるように努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	心境に配慮しながら、本人、家族と十分に話し合いを設けて安心し、納得されたうえでサービスを受けられるように努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている 小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「自立と相生」の理念のもとに、利用者同士、利用者職員が共に、支え合える関係づくりを目指しており、利用者様の意欲を引き出すケアに努めている		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方には、毎回状態報告をしており、利用者を支えて行く上で、家族の方の力が必要である事を理解して頂き、家族の方の協力を得ながら支援している		
20	Ⓔ)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の方に面会に来て頂いたり、ドライブ等で利用者様の馴染みのある場所に出向いたりしている	利用者が長い間生活してきた生家を訪問したり、近隣の友人が家族の方と一緒に面会に来てくれたりしている。事業所の近くにある店等にもたびたび買い物に出かけるなど、地域と日常的に関わり、新たな馴染みの関係も大切にしている。	事業所として真摯に取り組み、利用者満足につなげていることが確認できた。今後も、利用者個々と結びつく可能性のある地域資源の発見や、生活歴の再点検などを通じ、馴染みの関係性が保たれるような支援を継続していくことが期待される。
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の関係に配慮しながら、利用者同士が良い関係を築けるように、職員がさりげなく介入したり、話しやすい雰囲気作りを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の状況についても家族や、担当介護支援専門員と連絡をとって状況を把握しており、必要に応じて、相談や支援を行う体制になっている。		
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者や家族との話し合いや、普段の会話や様子などから、利用者の思いをくみ取り、意向の把握に努めている	職員は認知症の方への接し方に充分留意しながら、明るく積極的に利用者話しかける等、コミュニケーションが良くとられており、日常的な会話や、やりとりの中から一人ひとりの思いや意向を把握し、サービスの提供につなげている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族や、他事業所等から生活歴や暮らし方についての情報収集を行い支援に活用している		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントや、毎月の会議にて個々の状態についての話し合いを行い、状態の把握に努めている		
26	(10)	チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族との話し合い意見を反映させている。また、月1回介護計画の見直しを行い、現状にあった介護計画を作成している	職員は利用者の思いや意向を把握した上、家族の方との話し合いを基にケースカンファレンスを行い、チームで介護計画を作成している。サービスの提供は職員間で情報を共有しながら実施し、1か月毎にケースカンファレンスで計画の評価を行いながら、介護計画の見直しにつなげている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や対応についての記録をわかりやすく記入し介護計画に反映している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる 小規模多機能型住宅介護限定項目とする			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じて各機関と連絡をとりながら支援を行っている		
30	(11)	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族、本人が希望する医療機関を受診している。主治医や、薬局等と連携を図り相談、アドバイスを受けている	利用者や家族の希望する医療機関を受診・利用している。受診の付き添い支援も行えるよう 職員の勤務体制を整備している。受診後の状態についても適宜家族に報告されており、認知症の患者についても専門の医療機関と連携し、受診している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	敷地内にある関連施設の看護師からの支援体制が整っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時や退院時に互いに情報提供を行い、入院中の経過等も説明して頂いている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階からの話し合いを設けて、今後について家族に十分に説明している。また、家族の意向を踏まえ、場合によっては他事業所との連携を図り支援を行っている	利用開始時に、利用者・家族に事業所で対応可能な範囲について説明している。現在対象となる利用者はいないが、今後もかかりつけ医等の協力を得ながら、都度十分に説明をしていく予定である。他の福祉施設との連携も行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回消防署にて普通救命講習を受けている		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署が立ち会い、年2回の避難訓練を行っている。敷地内にある関連施設との合同避難訓練も行い災害時に供えている。また、地域の人たちの協力が得られるように働きかけている	事業所にはスプリンクラーが設置されている。消防署へ直通の通報装置が設置されているほか、年2回消防署の指導を受け避難訓練を実施している。災害時には隣接の福祉施設や近隣の会社からの協力が得られるようになっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手を敬い、自尊心を高めるような声掛けが出来るように努めている	個人情報の保護に関するマニュアルが作られており、職員に周知されている。利用者一人ひとりの生活歴、人格を尊重し、利用者の状態にあわせて優しく接しており、明るい和やかな雰囲気が醸し出され、利用者の誇りやプライバシーが守られていることが確認できた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が自己決定出来るように個々の状態に合わせて働きかけている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の個々心身の状況や希望に合わせて、柔軟な対応が出来るように努めている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している 認知症対応型共同生活介護限定項目とする	個々の好みを把握しており、各行事には、利用者に洋服を選んで頂きプレゼントをしている。また、外出時や、日常生活の衣類も利用者と一緒に選んでいる		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みを把握しており、食事のメニューに取り入れている。また、食事の準備や片付けは利用者と一緒にしている	買い物・調理・盛り付け・片付けに利用者が楽しそうに参加している。食事にも職員が同席し、細やかな気配りと明るい雰囲気で会話しながら、ゆったりと食事を楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は隣接する関連施設の栄養士に確認してもらい指導を受けている。食事摂取量や、水分量も毎回確認している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っており、状態に合わせて支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握しており、排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行っている。なるべく紙パンツを使用しないように取り組んでいる	利用者個々の排泄パターンを適切に把握し、個々に合わせたトイレ誘導を確実に実施しており、入居後にリハビリパンツが不要になった利用者もいる。生活空間はトイレ臭もなく快適である。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	本人の羞恥心に十分配慮しながら、排便の確認を行い、受診時等に主治医に報告している。また、普段から、乳製品の摂取や運動を行っている		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	拒否がある時は無理強いせず、本人の体調や状態に合わせて入浴して頂いている。また、お湯の温度等も個々の希望に合わせて、ゆっくりと入浴が出来る様に支援している	利用者の希望に沿って入浴が行われ、プライバシーへの配慮もなされている。浴室は明るく外の景色も眺められ、季節を感じ取りながら入浴を楽しむことができる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を把握し家庭と同じような生活が出来るように支援している。また、夜間不眠な方には、日中の運動量を多くし、安眠が出来るように働きかけている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的、副作用については、全職員が把握出来る体制を作っており、症状の変化があった際は、かかりつけ医を受診し報告している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴の情報収集を行い、それらを活かした支援を行える様に努めている		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している 認知症対応型共同生活介護限定項目とする	天気の良い日は、日光浴や散歩、園芸活動を行ったり、買い物への外出等で戸外に出かけられるように努めている。また、月の外出行事では、普段は行けないような場所に行ったりと楽しんで頂いている。本人の希望によっては、家族から協力を頂き、出掛けられるように支援している	利用者の希望を取り入れたり、季節を感じさせる場所に毎月外出し、楽しんでいる。すぐ出かけられるよう、車や運転担当の職員も配置されており、買い物等は日常的に実施している。また、畑づくり園芸 散策 趣味 その他の生きがい活動等のさまざまな活動を事業所周辺で楽しむことができる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の力量を見極め、買い物等でお金が使える様に支援している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の方の負担も考慮しながら、利用者の希望があれば電話を掛けている。また、手紙のやり取りができるように支援している		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、臭い、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れた装飾を心がけている。また、テレビの音や、温度等にも配慮し、利用者が快適に生活をして頂けるよう工夫している	共有空間では利用者個々の生活歴を感じさせる品々や作品、絵画等が、生活感、季節感を考慮しながらバランス良く飾られており、利用者の生き生きとした姿を感じさせる。居心地良く落ち着いて過ごせる空間となっている。職員が創意工夫し取り組んでいることが確認できた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている 認知症対応型共同生活介護限定項目とする	廊下やフロアにソファを置いており、気の合う仲間同士が集える場になるよう工夫している		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	環境の変化によるダメージを最小限にするため、入居時には、馴染みの家具や家族の写真を持ってきて頂けるように説明している。	居室には利用者自身の写真が飾られたり、読書好きな方は本箱を置いている。また、昔のアルバムを持参して大事にしている利用者も見られる。利用者個々が自分の居室を居心地良く飾り、楽しく過ごせるようにしていることが確認できた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること、わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各必要な箇所には手すりの設置や、物の置き場所の配置を配慮し安全に移動が出来るように配慮し、自立した生活を送れるように支援している		